

各 位

上場会社名	株式会社 小田原エンジニアリング
代表者	代表取締役社長 藤澤 和俊
(コード番号)	6149)
問合せ先責任者	管理部長代理 石塚 立身
(TEL)	0465-83-1122)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500	210	245	130	22.07
今回発表予想(B)	3,200	100	150	75	12.74
増減額(B-A)	△300	△110	△95	△55	
増減率(%)	△8.6	△52.4	△38.8	△42.3	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	4,444	618	761	339	57.57

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	150	220	120	20.37
今回発表予想(B)	3,000	85	145	70	11.89
増減額(B-A)	△300	△65	△75	△50	
増減率(%)	△9.1	△43.3	△34.1	△41.7	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	4,002	521	695	301	51.19

### 修正の理由

(連結) 前回予想(平成21年2月13日公表)では、前期末の受注残高が2,324百万円ありましたが、国内外の景気回復の見通しが立たない状況にあったことから、主要取引先の設備投資動向を見据えた営業現場の売上見通しに加えて、グローバルな経済環境を踏まえた市場動向や当社の業績推移等を勘案して、通期の売上高は3,500百万円(前期比21.3%減)の予想を作成しました。

当期に入って第2四半期末まで、売上高は前期からの受注案件を中心に概ね順調に推移しましたが、厳しい事業環境の影響は避けることができず、受注高が809百万円に留まり、第2四半期末の受注残高は1,328百万円となりました。

このため、今回修正の通期業績といたしましては、環境対応関連分野に一部の大口受注獲得を見込んでおりますが、主要取引先の慎重な設備投資・開発投資姿勢を踏まえ、売上高は3,200百万円(前回予想比300百万円減、対前期比28.0%減)を見込んでおります。

営業利益につきましては、人件費削減・経費削減等により原価低減策を展開するものの、売上高の減少や開発要素の高い案件の売上に加えて、月間生産量のバラツキによる売上原価の悪化が生ずる見込みのため、通期では100百万円(前回予想比110百万円減、対前期比83.8%減)と大幅な減少を見込んでおります。

経常利益につきましては、前期に増加した海外投資先からの受取配当金(104百万円)が大幅に減少するため、通期では150百万円(前回予想比95百万円減、対前期比80.3%減)を見込んでおります。

当期純利益につきましては、前期に計上した特別損失(減損損失115百万円)が減少するため、通期では75百万円(前回予想比55百万円減、対前期比77.9%減)を見込んでおります。

(ご参考)平成21年12月期第2四半期実績

売上高	1,804百万円	四半期純利益	59百万円
営業利益	104百万円	1株当たり四半期純利益	10円03銭
経常利益	121百万円		

(個別) 連結業績予想の修正理由と同じであります。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであるため、実際の業績は今後の様々な要因によっては、予想数値と異なる場合があります。

以上